

令和 3 年度第 3 回世田谷区地域公共交通会議 議事概要

日 時：令和 4 年 3 月 2 5 日 午後 3 時 2 9 分から 4 時 3 1 分

場 所：二子玉川分庁舎 1 階大会議室

道路・交通計画部交通政策課

会議の名称	令和３年度第３回世田谷区地域公共交通会議		
開催日時	令和４年３月２５日 午後３時２９分から４時３１分		
開催場所	二子玉川分庁舎１階大会議室		
出席者	(敬称略)		
	所 属	氏 名	備 考
	世田谷区道路・交通計画部長	田中 太樹	会長
	世田谷区道路・交通計画部交通政策課長	堂 園 次男	
	世田谷区高齢福祉部長	長岡 光春	
	東京都交通局自動車部計画課調整担当統括課長代理	横山 浩紀	代理
	京王電鉄バス株式会社 運輸営業部乗合事業担当課長補佐	南波 達也	代理
	小田急バス株式会社運輸計画部課長代理	前野 明弘	代理
	東急バス運輸事業部運輸計画部計画課長	原山 大輔	
	関東バス株式会社運輸部主査	三瓶 智史	代理
	一般社団法人東京バス協会乗合業務部長	米澤 暁裕	欠席
	一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会業務部長	小池 毅	
	世田谷区町会総連合会会長	三羽 和彦	
	世田谷区商店街連合会副会長	本杉 香	欠席
	区民（公募）	小泉 善太郎	
	区民（公募）	三藤 利雄	欠席
	区民（公募）	太田 哲夫	
	国土交通省関東運輸局東京運輸支局	藤本 義章	代理
	東京都交通運輸産業労働組合協議会バス部会事務長	舟山 明久	
	東京都交通運輸産業労働組合協議会ハイタク部会 事務長	久我 恒夫	
	国土交通省関東地方整備局東京国道事務所 管理第一課長	松崎 暁	
	東京都建設局第二建設事務所管理課長	鈴木 義治	欠席
	世田谷区土木部長	青木 誠	
	警視庁交通部交通規制課管理官	森 勝利	欠席
	警視庁世田谷警察署交通課長	長岡 孝浩	

	警視庁北沢警察署交通課長代理	小島 敏治	代理
	警視庁玉川警察署交通課長	斉藤 順紀	欠席
	警視庁成城警察署交通課長代理	大橋 真	代理
	東京都市大学建築都市デザイン学部都市工学科准教授	稲垣 具志	
事務局	道路・交通計画部交通政策課長 堂園次男 交通企画担当係長 尾崎正博 担当職員 齊藤卓也 大高翠		
会議の公開 非公開 一部非公開 の別	公開		
傍聴人の数	5 名		
会議次第	1 . 開会 2 . あいさつ 3 . 報告事項 バス路線（玉 04・05 系統）運行形態変更等について【東急バス（株）】 公共交通不便地域対策について【世田谷区】 4 . 審議事項 世田谷区地域公共交通会議設置要綱の改正について 5 . 閉会		

次 第 1 【 開 会 】

次 第 2 【 あ い さ つ 】

会 長 より あ い さ つ。

次 第 3 【 報 告 事 項 】 バ ス 路 線 (玉 04・05系 統) 運 行 形 態 変 更 等 に つ い て

資 料 2 「 喜 多 見 ・ 宇 奈 根 地 区 バ ス 路 線 (玉 04・05系 統) の 運 行 形 態 の 変 更 に 関 す る お 知 ら せ 」、 資 料 3 「 喜 多 見 ・ 宇 奈 根 地 区 バ ス 路 線 (玉 04・05系 統) の 運 行 形 態 の 変 更 に 向 け た 取 組 み 状 況 に つ い て 」 を 用 い て 東 急 バ ス よ り 説 明。

【 質 疑 応 答 な し 】

次 第 3 【 報 告 事 項 】 公 共 交 通 不 便 地 域 対 策 に つ い て

資 料 4 「 公 共 交 通 不 便 地 域 対 策 に つ い て 」 を 用 い て 事 務 局 よ り 説 明。

【 質 疑 応 答 】

- 委 員 今 回 の 取 組 み を 公 共 交 通 と し て 考 え る の か、 ま た は 高 齢 者 を 主 な 対 象 と す る の か。
そ れ に よ っ て 運 行 経 路 な ど 違 っ て く る と 思 う が ど の よ う に な っ て い る の か。
- 道 路 ・ 交 通 計 画 部 交 通 政 策 課 長 砧 モ デ ル 地 区 に お い て は、 公 共 交 通 で は あ る が、 高 齢 者 を メ イ ン タ ー ゲ ッ ト と し て 検 討 を 積 み 重 ね て き た。
- 委 員 砧 モ デ ル 地 区 で は 高 齢 者 が タ ー ゲ ッ ト で あ る の に 対 し、 喜 多 見 ・ 宇 奈 根 地 区 の 東 急 バ ス の 取 組 み は 公 共 交 通 と し て、 乗 車 ア ン ケ ー ト の 回 答 者 に は 3 0 歳 以 下 の 方 も、 4 0 代、 5 0 代、 6 0 代 の 方 も い る。 我 々 も 考 え る 上 で、 そ こ に 疑 問 を 感 じ て し ま う。 地 域 に よ っ て 違 う と 考 え た ほ う が い い の か。
- 道 路 ・ 交 通 計 画 部 交 通 政 策 課 長 地 区 の 特 性 に よ り 変 わ っ て く る と ころ は あ る と 思 う。
- 委 員 そ う な る と、 重 点 検 討 地 域 1 0 地 区 で、 目 指 す 方 策 や タ ー ゲ ッ ト 等 そ れ ぞ れ の テ ー マ は 変 わ っ て く る と い う こ と か。
- 道 路 ・ 交 通 計 画 部 交 通 政 策 課 長 恐 ら く 地 区 の 特 性 は そ れ ぞ れ 異 な る と 思 う。 先 ほ ど 挙 げ

た 10 地区ごとの状況を踏まえながら今後考えていく。

- 委員 これからさらに高齢化社会になっていくと思う。私はシルバーパスを活用し、バスを利用しているが、高齢者の利用が多いと感じている。そのため、高齢者に向けての公共交通が必要だと思う。他区のコミュニティバスではシルバーパスが使えないが 100 円となっており、利用者にとってはありがたい。現時点では予算の関係などを踏まえると、低廉な運賃は難しいと聞いているが、高齢者はますます増えるため、1、2 年のうちにとは言わないが、長い目でぜひ公共交通の充実を目指していただきたい。
- 道路・交通計画部交通政策課長 いただいたご意見を踏まえ、しっかり取組んでいきたいと思う。
- 委員 令和 5 年度に予定している実証運行は、車椅子にも対応する車両を使用するのか。
- 道路・交通計画部交通政策課長 使用する車両の詳細は、車椅子に対応できるかどうかも含めて今後検討していきたい。
- 委員 病院等に輸送するという点を考えると、車椅子の方の利用も多くなると思う。
- 道路・交通計画部交通政策課長 確かに、病院等に行く際は車椅子利用の方も含めて考えていくことは大事だと思う。今後考えを示せる段階になったらお伝えしたい。
- 委員 運賃の収受について、IC カードや QR コードは利用可能か、現金のみ対応なのか、詳細は決まっているのか。
- 道路・交通計画部交通政策課長 運賃の収受についても今後詰めていきたいと思う。
- 委員 3 点伺いたい。1 点目がほかの施策や取組みとの関連について、2 点目が住民地域への情報提供について、3 点目がミーティングポイントの設定についてである。

1 点目は、先ほど東急バスから説明があったように、宇奈根・喜多見地域でも予約システムを使ってデマンドを走らせるという取組みがスタートしている。これを区全体で見ると、2 つの地域でデマンドの検討をしているため、運賃や運行状況等の詳細な設定は、足並みをどのようにそろえていくのか。

先ほど車椅子の話があったが、福祉有償運送のほうで車椅子の方々はかなり対応している可能性がある。運用状況を確認した上で、その情報が地域にどれぐらい行き渡っているのかというところの整理も必要ではないか。純粹にモビリティのシステムのスペックだけを検討していくと、ほかの施策との重複という点で経費の有効活用にならない可能性がある。

- 道路・交通計画部交通政策課長 ご指摘の通りほぼ同時に動くような形で、喜多見・宇奈根地区では来年度下期の本格運行を、我々の砧モデル地区も令和 5 年度の実証運行を目指すため、料金設定の考え方も含め庁内で整理していかなければならない。また、砧モデル地

区においては需要予測アンケート調査の結果も踏まえながら整理していきたいと思う。

- 委員 その話が2点目につながるが、そもそも両者で経費の賄い方が全く異なる。東急バスは事業者が主体となってやっていく一方で、砧は補助金等の税金の投入があり得る。砧は収支率30%を目指しているという話が出ているが、広告収入などのサポーター制度を活用しても100%にはならず、公費が投入される可能性が高いと思う。その中で、運賃の考え方を地域に理解してもらうための情報提供の在り方は、ハードルが少し高く感じる。これは砧と喜多見・宇奈根の両地域にどうアプローチするのかを戦略的に考えなければいけない。

また、デマンドに対する理解が100%得られていないところがあると思う。資料2の東急バスの件になるが、実際に高齢者がどれぐらいシステムを使えたのかというところまで、検証が至っていないように思う。今のこのモビリティがない状態に、今回のデマンドが入ることによって、高齢者の日常生活がどのように変わっていくのかのビフォーアフターがいかに生々しく地域に伝えられるかが重要になると思う。何か作戦を地域と一緒に考えるフレームワークなどはあるのか教えていただきたい。

- 道路・交通計画部交通政策課長 今回の東急バスのシステム検証運行は、既存の玉04・05系統を動かした中で実施し、高齢者の利用状況把握のためにアンケート調査等もした。今回は、電話より専用の予約サイトからの申込みが多かった実態等も踏まえ、今後整理したいと思う。
- 委員 政策としての経費の考え方がいかにクリアになって理解してもらえるか、システムと自分との関わり方がどれぐらいイメージできるかが重要だと思う。資料にはデマンド型交通の運行概要のたたき台が出ているが、これまで積み上げてきた地域の方々との調整はこれからか。

デマンドではなく定時定路線になる可能性もあるのか。

- 道路・交通計画部交通政策課長 地元では協議会が立ち上がっており、またこれまでワークショップ等を重ねてきた勉強会もある。こういった方々を含めて情報提供しながら、アンケート調査を実施していきたい。
- 委員 了解した。アンケート調査で需要を取ることも重要だが、双方向の情報の行き来が必要だと思い、コメントした。

3点目はミーティングポイントの設定の考え方について伺いたい。資料4の最終ページの地図でオレンジ色の丸で示されている定時定路線型のバス停候補地で固定すると、フレキシブルに目的地の選択ができないため、運行ルートから少し離れた病院やスーパーなどの目的地をデマンド型停留所候補地としているが、よりフレキシブル性を高めるため、出

発地としての停留所の設定は考えているのか。

- 道路・交通計画部交通政策課長 これはあくまでも現時点での候補地である。地図上の青丸のデマンド型停留所は、買物支援や高齢者の活動拠点として使われている場所を候補地にしている。

また、運行区域の枠外にある飛び地まで輸送可能かどうかも含め、アンケート調査等で検証したい。

- 委員 私が伺いたいのは、地図上の青丸は目的地についていると理解しているので、出発地として住宅等でも新たにミーティングポイントの設置を検討していくような余地があるのかということである。これは警察協議でもハードルが高いと思うが、どのように考えているか。
- 道路・交通計画部交通政策課長 住宅地は、道路事情等にもよると思うが、安全面や実際に乗降できるかどうかとも考慮し、地域からこの場所に設置できないかという声があれば検討していくことになるかと思う。
- 委員 ミーティングポイントが何なのか、デマンドシステムが何なのか、そして何に関する要望を出せばいいのかが地域にきちんと伝わった状態で議論の俎上にのせないといけないと思う。そこは丁寧にアプローチしなければいけないと思う。
- 委員 1995年だったと思うが、全国に先駆けて武蔵野市でムーバスが成功し、コミュニティバスが全国的に展開していった。これは100円運賃だが、今は既に成功とは言えないような形で運営されている。運行収支について100円では人件費が賄えないため、そこで働いている労働者も非正規雇用である。大型2種免許取得者数も1年で7,000人を切るような状況で、かなり減っており、先行きなり手がいない状況になっている。ビジネス性も求めているが、運賃と雇用、何より安全性を考慮して運賃について検討してほしい。

次第4【審議事項】世田谷区地域公共交通会議設置要綱の改正について

- 道路・交通計画部交通政策課長 資料1の要綱、第4条のように、これまでは世田谷区道路・交通計画部長を会長として当会を進めてきた。今回、東急バス、世田谷区が共にデマンド型交通に関連した報告をしたが、新型コロナウイルス感染症の影響や技術の進展により、新たな生活様式や新技術を踏まえた輸送形態の検討がより一層望まれてくるものと考えている。このような中、地域に即した、よりよい地域交通のためには、行政からの視点だけではなく、それぞれの公共交通の役割や、将来を見据えた多角的な視点での議論が必要となることから、当会の会長を区の職員以外の方で担っていただけるようにしたいと思

う。そこで資料５の要綱改正案、第４条のように「交通会議に会長を置き、委員の互選により選任された者を充てる。」と改正したい。その上で、次回、令和４年度第１回の地域公共交通会議で、委員の皆様の互選により会長を選出いただくことで考えている。

- 会長 要綱の一部改正に関して異議等はないか。

(異議なし)

- 会長 異議がないため、要綱改正案のとおり改正し、本会議の会長は、委員の互選により定めることとする。

なお、公募の区民委員の方々については、今年度は新型コロナウイルスの影響により書面開催が多かったため、来年度１年間委員の継続をお願いしたい。

——閉会——